

でんさいネット
標準フォーマット(固定長テキスト形式)
1.2版

平成23年2月

株式会社 全銀電子債権ネットワーク

1)集信1 発生記録請求、譲渡記録請求、分割譲渡記録請求に用いる。

2)配信1 発生記録請求、譲渡記録請求、分割譲渡記録請求があった旨の通知を各記録請求の相手方へ提供する。

発生記録請求、譲渡記録請求、分割譲渡記録請求の一括請求を行った場合の処理結果を、請求者自身へ通知する場合にも利用可能。

3)配信2 記録事項の開示結果(債権最新情報)を提供する。

改定履歴

改定日	改定内容
平成22年3月	制定 1.0版
平成22年7月	改定 1.1版(集信2廃止、配信1・配信2の設定項目見直し)
平成23年2月	改定 1.2版 1)ファイル名等の共通ルールを記載 2)集信1の請求者Ref.No.の使用可能文字を追記 3)配信1の設定パターンを通知内容に応じて見直し (主にI/F仕様書1.2版の取り込み対応)

でんさいネット標準フォーマット固定長テキスト形式の共通ルール

- 1) ファイル名は任意とする。
- 2) 各レコード・フォーマットにおける使用文字は、原則としてJISコードまたはEBCDICコードであり、以下にそのコード表を示す。

(EBCDICの場合)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0					SP		-		ソ							0
1							/		ア	タ			A	J		1
2					「				イ	チ	ハ		B	K	S	2
3					」				ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4									エ	テ	マ		D	M	U	4
5									オ	ト	ミ		E	N	V	5
6					ヲ				カ	ナ	ム		F	O	W	6
7									キ	ニ	メ		G	P	X	7
8									ク	ヌ	モ		H	Q	Y	8
9									ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A								:	コ	ノ	ユ	レ				
B					.	¥	,						口			
C									サ		ヨ	ワ				
D					()		'	シ	ハ	ラ	ン				
E					+				ス	ヒ	リ	ゝ				
F							?		セ	フ	ル	ゝ				

(JISの場合)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0		P							タ	ミ		
1				1	A	Q						ア	チ	ム		
2				2	B	R					「	イ	ツ	メ		
3				3	C	S					」	ウ	テ	モ		
4				4	D	T						エ	ト	ヤ		
5				5	E	U						オ	ナ	ユ		
6				6	F	V					ヲ	カ	ニ	ヨ		
7			'	7	G	W						キ	ヌ	ラ		
8			(8	H	X						ク	ネ	リ		
9)	9	I	Y						ケ	ノ	ル		
A				:	J	Z						コ	ハ	レ		
B			+		K							サ	ヒ	口		
C			,		L	¥						シ	フ	ワ		
D			-		M							ス	ハ	ン		
E			.		N							セ	ホ	ゝ		
F			/	?	O							ソ	マ	ゝ		

- 3) 配信データの編集対象範囲(例えば一括請求結果は提供対象外)、頻度、配信方法等は任意とする。

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。1:ヘッダーレコード
2	種別コード	N	2	M	業務種別を表す。※1
3	文字コード区分	N	1	M	使用文字コード区分を表す。0:JIS、1:EBCDIC
4	記録請求日	N	8	M	記録請求日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
5	請求者				
6	請求者_利用者番号	C	9	M	記録請求依頼人識別のため、記録機関が採番したコードを表す。
7	請求者名	C	30	O	左詰め、残りスペース
8	取引銀行番号	N	4	M	統一金融機関コード
9	取引銀行名	C	15	O	左詰め、残りスペース
10	取引支店番号	N	3	M	統一店番号
11	取引支店名	C	15	O	左詰め、残りスペース
12	預金種目	N	1	M	預金種目を表す。1:普通預金、2:当座預金、9:その他
13	口座番号	N	7	M	右詰め、残り前「0」
14	ダミー	C	154	-	スペースとする

250

※1 種別コード

- 11: 発生記録請求(債務者請求方式)
- 12: 発生記録請求(債権者請求方式)
- 20: 譲渡記録請求
- 30: 分割譲渡記録請求

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O				内容
				請求方式 (債務者発生)	請求方式 (債権者発生)	譲渡	分割	
1	データ区分	N	1	M	M	M	M	レコードの種類を表す。 2:データレコード
2	取引相手							
3	取引相手_利用者番号	C	9	M	M	M	M	記録請求依頼人識別のため、記録機関が採番したコードを表す。※2
4	取引相手_取引銀行番	N	4	M	M	M	M	統一金融機関コード
5	取引相手_取引銀行名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残りスペース
6	取引相手_取引支店番	N	3	M	M	M	M	統一店番号
7	取引相手_取引支店名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残りスペース
8	取引相手_預金種目	N	1	M	M	M	M	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
9	取引相手_口座番号	N	7	M	M	M	M	右詰め、残り前「0」
10	債権金額	N	10	M	M	M	M	※3
11	支払期日	N	8	M	M	-	-	支払期日を表す。 YYYYMMDD(年-月-日) ※4
12	譲渡制限有無フラグ	N	1	O	O	-	-	譲渡制限有無を表す。 0:制限なし、1:金融機関のみに制限 ※5
13	記録番号	C	20	-	-	M	M	※6
14	保証随伴フラグ	N	1	-	-	O	O	保証随伴有無を表す。 0:保証なし1:保証付き ※7
15	依頼人Ref. No.	C	40	O	O	O	O	※8
16	ダミー	C	115	-	-	-	-	スペースとする

250

※2 取引相手

発生記録請求(債務者請求方式) : 債権者情報を記載
発生記録請求(債権者請求方式) : 債務者情報を記載
譲渡記録請求 : 譲受人情報を記載
分割譲渡記録請求 : 譲受人情報を記載

※3 金額

発生記録請求(債務者請求方式) : 発生させる金額
発生記録請求(債権者請求方式) : 発生させる金額
譲渡記録請求 : 譲渡する金額(=債権金額)
分割譲渡記録請求 : 分割譲渡する金額(<債権金額)

※4 支払期日

発生記録請求時のみ必須。
譲渡・分割請求時にはセット不可。

※5 譲渡制限有無フラグ

発生記録請求時のみ設定。任意項目とし、セット無い場合は「0:制限なし」として取り扱う。
譲渡・分割請求時にはセット不可。

※6 記録番号

発生記録請求時にはセット不可。
譲渡・分割請求時には必須。分割請求時は原債権の記録番号を設定する。

※7 保証随伴フラグ

発生記録請求時にはセット不可。
譲渡・分割請求時に設定。任意項目とし、セット無い場合は「1:保証付き」として取り扱う。

※8 依頼人Ref. No.

使用可能文字は数字(0~9)、英大文字(A~Z)と半角括弧、ピリオド、ハイフン(0.-)のみとなる。

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。8:トレーラレコード
2	合計件数	N	6	M	
3	合計金額	N	12	M	
4	ダミー	C	231	-	スペースとする

250

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。9:エンドレコード
2	ダミー	C	249	-	スペースとする

250

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。1:ヘッダーレコード
2	種別コード	N	2	M	業務種別を表す。80:発生・譲渡通知
3	文字コード区分	N	1	M	使用文字コード区分を表す。0:JIS、1:EBCDIC
4	通知作成日	N	8	M	通知作成日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
5	通知先				
6	通知先_利用者番号	C	9	M	通知先識別のため、記録機関が採番したコードを表す。
7	通知先名	C	30	O	左詰め、残りスペース
8	取引銀行番号	N	4	M	統一金融機関コード
9	取引銀行名	C	15	O	左詰め、残りスペース
10	取引支店番号	N	3	M	統一店番号
11	取引支店名	C	15	O	左詰め、残りスペース
12	預金種目	N	1	M	預金種目を表す。1:普通預金、2:当座預金、9:その他
13	口座番号	N	7	M	右詰め、残り前「0」
14	ダミー	C	204	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O				内容
				債 務 者 請 求	債 権 者 請 求	譲 渡	譲 分 割	
1	データ区分	N	1	M	M	M	M	レコードの種類を表す。2:データレコード
2	データレコード区分	N	2	M	M	M	M	データレコードの種類を表す。 ※1
3	義務者							
4	義務者_名称	C	30	M	M	O	O	先頭30文字分を設定。
5	義務者_取引銀行番号	N	4	M	M	O	O	統一金融機関コード
6	義務者_取引銀行名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
7	義務者_取引支店番号	N	3	M	M	O	O	統一店番号
8	義務者_取引支店名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
9	義務者_預金種目	N	1	M	M	O	O	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
10	義務者_口座番号	N	7	M	M	O	O	右詰め、残リ前「0」
11	権利者							
12	権利者_名称	C	30	M	M	M	M	先頭30文字分を設定。
13	権利者_取引銀行番号	N	4	M	M	M	M	統一金融機関コード
14	権利者_取引銀行名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
15	権利者_取引支店番号	N	3	M	M	M	M	統一店番号
16	権利者_取引支店名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
17	権利者_預金種目	N	1	M	M	M	M	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
18	権利者_口座番号	N	7	M	M	M	M	右詰め、残リ前「0」
19	債権金額	N	10	M	M	M	M	
20	支払期日	N	8	M	M	M	M	支払期日を表す。 YYYYMMDD(年-月-日)
21	譲渡制限有無フラグ	N	1	M	M	-	-	譲渡制限有無を表す。 0:制限なし、1:金融機関のみに制限
22	記録番号	C	20	M	M	M	M	
23	依頼人Ref. No.	C	40	O	O	O	O	発生・譲渡・分割譲渡の記録請求に設定されていたRef.No.を設定。
24	電子記録年月日	N	8	M	M	M	M	電子記録(予定)年月日を表す。 YYYYMMDD(年-月-日)
25	取消区分	N	1	O	O	O	O	発生・譲渡・分割譲渡の通知を取り消す場合に使用する。 1:取消
26	エラー区分	N	1	-	-	-	-	エラー通知の際に設定する。 1:エラー、2:エラー(連鎖) ※2
27	エラー情報	C	30	-	-	-	-	左詰め、残リスペース ※3
28	ダミー	C	28	-	-	-	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

●取引の相手方へ通知する場合の設定パターン

※1 データレコード区分

- 01: 発生(債務者請求方式)
- 02: 発生予約(債務者請求方式)
- 03: 発生(債権者請求方式)
- 04: 発生予約(債権者請求方式)
- 05: 譲渡
- 06: 譲渡予約
- 07: 分割譲渡
- 08: 分割譲渡予約

注)義務者と権利者の両方を設定している理由について

通知の受信においては、自身の記録請求がトリガーとなるケースと他社の記録請求がトリガーとなるケースの双方があるため、当該データ自体で取引内容が判別可能となる様、集信ファイルとは異なり、あえて両方を設定することとしている。

※2 エラー区分、※3 エラー情報

常に設定なしとなる。

項番	項目名	属性	桁数	M/O				内容
				債権者 請求	発生 請求	譲渡	譲分 渡割	
1	データ区分	N	1	M	M	M	M	レコードの種類を表す。2:データレコード
2	データレコード区分	N	2	M	M	M	M	データレコードの種類を表す。 ※1
3	義務者							
4	義務者_名称	C	30	M	M	O	O	先頭30文字分を設定。
5	義務者_取引銀行番号	N	4	M	M	O	O	統一金融機関コード
6	義務者_取引銀行名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
7	義務者_取引支店番号	N	3	M	M	O	O	統一店番号
8	義務者_取引支店名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
9	義務者_預金種目	N	1	M	M	O	O	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
10	義務者_口座番号	N	7	M	M	O	O	右詰め、残リ前「0」
11	権利者							
12	権利者_名称	C	30	M	M	M	M	先頭30文字分を設定。
13	権利者_取引銀行番号	N	4	M	M	M	M	統一金融機関コード
14	権利者_取引銀行名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
15	権利者_取引支店番号	N	3	M	M	M	M	統一店番号
16	権利者_取引支店名	C	15	O	O	O	O	左詰め、残リスペース
17	権利者_預金種目	N	1	M	M	M	M	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
18	権利者_口座番号	N	7	M	M	M	M	右詰め、残リ前「0」
19	債権金額	N	10	M	M	M	M	
20	支払期日	N	8	M	M	M	M	支払期日を表す。 YYYYMMDD(年-月-日)
21	譲渡制限有無フラグ	N	1	M	M	-	-	譲渡制限有無を表す。 0:制限なし、1:金融機関のみに制限
22	記録番号	C	20	M	M	M	M	
23	依頼人Ref. No.	C	40	O	O	O	O	発生・譲渡・分割譲渡の記録請求に設定されていたRef.No.を設定。
24	電子記録年月日	N	8	M	M	M	M	電子記録(予定)年月日を表す。 YYYYMMDD(年-月-日)
25	取消区分	N	1	O	O	O	O	発生・譲渡・分割譲渡の通知を取り消す場合に使用する。 1:取消
26	エラー区分	N	1	-	-	-	-	エラー通知の際に設定する。 1:エラー、2:エラー(連鎖) ※2
27	エラー情報	C	30	-	-	-	-	左詰め、残リスペース ※3
28	ダミー	C	28	-	-	-	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

●一括請求の結果(正常)を請求者へ通知する場合の設定パターン

※1 データレコード区分

- 01: 発生(債権者請求方式)
- 02: 発生予約(債権者請求方式)
- 03: 発生(債権者請求方式)
- 04: 発生予約(債権者請求方式)
- 05: 譲渡
- 06: 譲渡予約
- 07: 分割譲渡
- 08: 分割譲渡予約

注)義務者と権利者の両方を設定している理由について

通知の受信においては、自身の記録請求がトリガーとなるケースと他社の記録請求がトリガーとなるケースの双方があるため、当該データ自体で取引内容が判別可能となる様、集信ファイルとは異なり、あえて両方を設定することとしている。

※2 エラー区分、※3 エラー情報

常に設定なしとなる。

項番	項目名	属性	桁数	M/O				内容
				債 務 者 請 求	発 生	債 権 者 請 求	発 生	
1	データ区分	N	1	M	M	M	M	レコードの種類を表す。2:データレコード
2	データレコード区分	N	2	M	M	M	M	データレコードの種類を表す。 ※1
3	義務者							
4	義務者_名称	C	30	0	0	0	0	先頭30文字分を設定。
5	義務者_取引銀行番号	N	4	0	0	0	0	統一金融機関コード
6	義務者_取引銀行名	C	15	0	0	0	0	左詰め、残リスペース
7	義務者_取引支店番号	N	3	0	0	0	0	統一店番号
8	義務者_取引支店名	C	15	0	0	0	0	左詰め、残リスペース
9	義務者_預金種目	N	1	0	0	0	0	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
10	義務者_口座番号	N	7	0	0	0	0	右詰め、残り前「0」
11	権利者							
12	権利者_名称	C	30	0	0	0	0	先頭30文字分を設定。
13	権利者_取引銀行番号	N	4	0	0	0	0	統一金融機関コード
14	権利者_取引銀行名	C	15	0	0	0	0	左詰め、残リスペース
15	権利者_取引支店番号	N	3	0	0	0	0	統一店番号
16	権利者_取引支店名	C	15	0	0	0	0	左詰め、残リスペース
17	権利者_預金種目	N	1	0	0	0	0	預金種目を表す。 1:普通預金、2:当座預金、9:その他
18	権利者_口座番号	N	7	0	0	0	0	右詰め、残り前「0」
19	債権金額	N	10	0	0	0	0	
20	支払期日	N	8	0	0	0	0	支払期日を表す。 YYYYMMDD(年一月一日)
21	譲渡制限有無フラグ	N	1	0	0	-	-	譲渡制限有無を表す。 0:制限なし、1:金融機関のみに制限
22	記録番号	C	20	-	-	M	M	※2
23	依頼人Ref. No.	C	40	0	0	0	0	発生・譲渡・分割譲渡の記録請求に設定されていたRef.No.を設定。
24	電子記録年月日	N	8	0	0	0	0	電子記録(予定)年月日を表す。 YYYYMMDD(年一月一日)
25	取消区分	N	1	0	0	0	0	発生・譲渡・分割譲渡の通知を取り消す場合に使用する。 1:取消
26	エラー区分	N	1	M	M	M	M	エラー通知の際に設定する。 1:エラー、2:エラー(連鎖) ※3
27	エラー情報	C	30	0	0	0	0	左詰め、残リスペース ※4
28	ダミー	C	28	-	-	-	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

●一括請求の結果(エラー)を請求者へ通知する場合の設定パターン

※1 データレコード区分

- 01: 発生(債務者請求方式)
- 02: 発生予約(債務者請求方式)
- 03: 発生(債権者請求方式)
- 04: 発生予約(債権者請求方式)
- 05: 譲渡
- 06: 譲渡予約
- 07: 分割譲渡
- 08: 分割譲渡予約

※2 記録番号

発生 設定なしとなる。
 譲渡 譲渡債権の記録番号を設定する。
 分割 原債権の記録番号を設定する。

※3 エラー区分

- 1: エラー 当該レコードに業務エラー等があることを示す。
- 2: エラー(連鎖) 当該レコード単体では業務エラー等が無いものの、同一ファイル内の別レコードのエラーに伴い、エラー扱いとなったことを示す。(一括請求では、全件正常の場合に一括で記録処理を行う仕様となっている。)

※4 エラー情報

エラーメッセージやエラーコード等を設定する。
 設定例 "サイケンヤカイトナン "、"E001 "

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。8:トレーラレコード
2	合計件数	N	6	M	
3	合計金額	N	12	M	
4	ダミー	C	281	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。9:エンドレコード
2	ダミー	C	299	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。1:ヘッダーレコード
2	種別コード	N	2	M	業務種別を表す。90:開示結果
3	文字コード区分	N	1	M	使用文字コード区分を表す。0:JIS、1:EBCDIC
4	通知作成日	N	8	M	通知作成日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
5	請求者				
6	請求者_利用者番号	C	9	M	開示請求依頼人識別のため、記録機関が採番したコードを表す。
7	請求者名	C	30	O	左詰め、残りスペース
8	取引銀行番号	N	4	M	統一金融機関コード
9	取引銀行名	C	15	O	左詰め、残りスペース
10	取引支店番号	N	3	M	統一店番号
11	取引支店名	C	15	O	左詰め、残りスペース
12	預金種目	N	1	M	預金種目を表す。1:普通預金、2:当座預金、9:その他
13	口座番号	N	7	M	右詰め、残り前「0」
14	開示種別コード	N	1	M	常に「1」記録事項の開示となる。
15	立場コード	N	2	O	範囲指定しての開示の場合に設定する。※1
16	ダミー	C	201	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

※1 立場コード

- 01:債権者、02:債務者、03:電子記録保証人、
- 05:支払者(債務者)、06:支払者(電子記録保証人)
- 07:支払者(第三者)、08:差押債権者(利用者)

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。2:データレコード
2	データレコード区分	N	2	M	データレコードの種類を表す。01:債権情報
3	記録番号	C	20	M	
4	発生日	N	8	M	発生日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
5	債権金額	N	10	M	
6	支払期日	N	8	M	支払期日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
7	依頼人 Ref. No.	C	40	O	発生あるいは分割時の請求者 Ref. No.を設定
8	債権状態区分コード	N	1	M	債権の状態を表す。※2
9	譲渡制限有無フラグ	N	1	M	譲渡制限有無を表す。0:制限なし、1:金融機関のみに制限
10	強制執行区分コード	N	1	M	強制執行区分を表す。※3
11	支払等記録有無フラグ	N	1	M	支払等記録有無を表す。※4
12	信託記録有無フラグ	N	1	M	信託記録有無を表す。0:信託記録なし、1:信託記録あり
13	求償権区分コード	N	1	M	求償権区分を表す。※5
14	支払日	N	8	O	支払日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
15	未決済金額	N	10	M	未決済金額=債権金額+費用等-支払金額となる
16	費用等	N	10	O	法35条の「避けることができなかった費用の額」を設定する。
17	支払不能有無フラグ	N	1	M	支払不能有無を表す。0:なし、1:あり
18	支払不能事由コード	N	1	O	支払不能事由を表す。1:0号、2:1号、3:2号
19	債務者				
20	債務者_名称	C	30	M	先頭30文字分を設定。
21	債務者_取引銀行番号	N	4	M	統一金融機関コード
22	債務者_取引銀行名	C	15	O	左詰め、残りスペース
23	債務者_取引支店番号	N	3	M	統一店番号
24	債務者_取引支店名	C	15	O	左詰め、残りスペース
25	債務者_預金種目	N	1	M	預金種目を表す。1:普通預金、2:当座預金、9:その他
26	債務者_口座番号	N	7	M	右詰め、残り前「0」
27	債権者				
28	債権者_名称	C	30	M	先頭30文字分を設定。
29	債権者_取引銀行番号	N	4	M	統一金融機関コード
30	債権者_取引銀行名	C	15	O	左詰め、残りスペース
31	債権者_取引支店番号	N	3	M	統一店番号
32	債権者_取引支店名	C	15	O	左詰め、残りスペース
33	債権者_預金種目	N	1	M	預金種目を表す。1:普通預金、2:当座預金、9:その他
34	債権者_口座番号	N	7	M	右詰め、残り前「0」
35	ダミー	C	25	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定

※2 債権状態区分コード

0: 存在、1: 消滅(主たる債務者により支払い済み)、9: 取消

※3 強制執行区分コード

0: なし、1: あり

※4 支払等記録有無フラグ

0: なし、1: あり(債務者 一部弁済)、2: あり(債務者)、3: あり(電子記録保証人)、4: あり(第三者)

※5 求償権区分

0: なし、1: 求償権あり、2: 特別求償権あり

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。2:データレコード
2	データレコード区分	N	2	M	データレコードの種類を表す。02:保証人情報
3	同一種類データレコード数	N	4	M	一つの債権情報に続く、同一種類データレコード数を表す。00XX(右詰め残り前「0」、ただし最大33(0001~0033))
4	同一種類データレコード番号	N	4	M	同一種類データレコードのシーケンス番号を表す。右詰め残り前「0」
5	保証人項目数	N	2	M	当該レコード内の可変項目数を表す。「01」「02」「03」のみ。
6	保証人(1)				
7	保証人(1)_名称	C	30	M	左詰め、残りスペース
8	保証人(1)_取引銀行番号	N	4	M	統一金融機関コード
9	保証人(1)_取引銀行名	C	15	O	左詰め、残りスペース
10	保証人(1)_取引支店番号	N	3	M	統一店番号
11	保証人(1)_取引支店名	C	15	O	左詰め、残りスペース
12	保証人(1)_預金種目	N	1	M	預金種目を表す。1:普通預金、2:当座預金、9:その他
13	保証人(1)_口座番号	N	7	M	右詰め、残り前「0」
14	保証記録年月日	N	8	M	保証記録年月日を表す。YYYYMMDD(年-月-日)
15	ダミー	C	7	-	
16	保証人(2)	C,N	90	O	保証人(1)に同じ。項番5「保証人項目数」が「01」の場合は、すべてスペースとする。
17	保証人(3)	C,N	90	O	保証人(1)に同じ。項番5「保証人項目数」が「01」または「02」の場合は、すべてスペースとする。
18	ダミー	C	17	-	

13

90

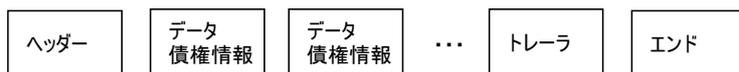
300

<凡例>

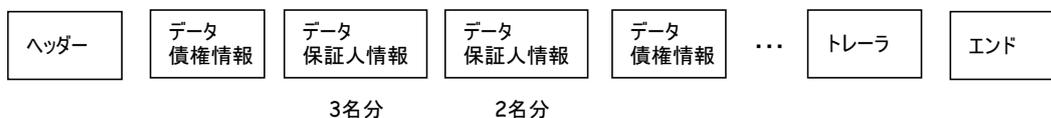
C: 文字、N: 数字、M: 必須、O: 任意、-: 固定

◇シーケンスフロー例

- 1) データ1件目に保証人なし



- 2) データ1件目に保証人5名



項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。8:トレーラレコード
2	合計件数	N	6	M	債権情報の件数を設定する。
3	合計金額	N	12	M	債権金額(データレコード(債権情報)項番5)の合計額を設定する。
4	ダミー	C	281	-	スペースとする

300

<凡例>

C: 文字、N: 数字、M: 必須、O: 任意、-: 固定

項番	項目名	属性	桁数	M/O	内容
1	データ区分	N	1	M	レコードの種類を表す。9:エンドレコード
2	ダミー	C	299	-	スペースとする

300

<凡例>

C:文字、N:数字、M:必須、O:任意、-:固定